



公立西知多総合病院だより

第19号(4~7月号)

2020.1.7 開催

ごてんまんざい
御殿万歳の様子

外来エレベーター



新任病院長あいさつ／病院長…P1

市民健康教室を開催しました／健診科部長…P2

看護管理室って何をしているところ？／副看護部長…P3

救急看護について／救急看護認定看護師…P4

ロコモクティブシンドローム／作業療法士…P5

お知らせコーナー …P6

新任病院長あいさつ

院長 吉原 基



この度、令和2年4月1日付けて病院長を拝命しました。私は昭和40年に東海市に生まれ、22歳までをこの地で過ごしました。この機会を大変光栄に思い、故郷のために全力を尽くす所存であります。

開院から5年が経過し、昨年には放射線治療設備も整い、がん治療の3本柱である、外科治療・薬物治療・放射線治療のすべてが当院で行えるようになりました。これにより、救急医療、災害医療などに加え、高度ながん診療体制も整いました。浅野前院長の指揮のもとに行われてきた病院の立ち上げがほぼ完成しました。これからは、人員確保をはじめとしたソフト面の拡充を図り、さらなる発展をとげることが病院に求められ、これを達成することが私の責務であると考えます。

これからの10年は、国の地域医療構想という政策で、医療のあり方が大きく変わることが予想されます。なんでも行う地域の中核病院ではなく、近隣の医療機関と協力して役割分担をするというように、考え方をえていかなくてはなりません。その中で当院は、高度で専門性の高い医療を行う急性期医療と、地域に不足している医療を担う役割を果たし、地域の住民の皆さんや医療機関から信頼される病院にならなくてはなりません。

これまで同様、職員の努力に加え、東海・知多市当局の絶大な協力のもとに、近隣の医療機関、そして住民の皆さんと「ワンチーム」となって、地域になくてはならない病院として、安心安全な医療を皆さんにお届けしてまいります。

どうぞよろしくお願ひいたします。

21 健診センター



市民健康教室を開催しました

健診科部長 稲生靖

令和2年1月16日（木）に、当院2階講堂で「子宮頸がんを予防するには。守ろう自分のからだ」と題して、3回目となる市民健康教室を開催しました。

当日は、知多メディアスも取材に来ており、その様子はメディアスのホームページで確認できます。近隣の住民や、医療関係者、併せて28名の参加がありました。

講演の内容

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染で引き起こされるので、ウイルスの感染を防ぐことで予防が出来ます。ウイルスの感染を防ぐにはHPVワクチンの接種が有効ですが、日本国内ではワクチン接種による重篤な副反応が報道されてから、行政による積極的なワクチン接種勧奨が中止されて、すでに6年が経過しています。国内の研究者が、ワクチン接種と重篤な副反応とは無関係だとする大規模調査研究の結果を公表しました。国も、日本産科婦人科学会などの要望を受け入れて、ワクチン接種の積極的勧奨の再開へと舵を切ろうとしています。

ただし、ヒトパピローマウイルスは100種類以上もあり、がんの発症に関わるものも15種類あるため、ワクチン接種だけではウイルスの感染を完全に防ぐことはできないので、がん検診が重要となります。当院健診センターでは、子宮がん検診、HPVワクチン接種ともに受けることが出来ます。万が一に副反応が生じても、当院婦人科が県内に12施設ある相談窓口の1つとなっているため、安心してご利用ください。

子宮頸がんの多くはゆっくり進行し、定期的な検査で発見しやすい病気です。



20代後半から30代、40代といった子育てや仕事で一番忙しい時期が、子宮頸がんの発症のピークとなります！



自分のため、そして大切な人のためにも、忙しい時こそ是非検診におこしください。

看護管理室って何をしているところ?

看護管理室副看護部長 竹之越寿美子



看護職員が所属する看護局は、病院組織の中で最大の集団です。その集団をワンチームとして束ねているのが「看護管理室」です。「患者ファースト」をモットーに、患者さんやご家族の気持ちを大切にし、ご希望が叶うためにと看護局の重点目標に「看護計画を患者・家族と共有し、意向を尊重したケアを提供する」「患者の意向や退院後の生活イメージを組み入れた入退院支援を提供する」を掲げています。この目標を看護職員全員が達成できるように支援することが看護管理室の役割の一つです。

看護局は「看護管理部」「臨床看護部」「看護支援部」という3部門に分かれています。
いったい各部門はどんなことをしているのでしょうか?

看護管理部

看護職員の人事・労務管理をしています。看護職員一人一人が健康で生き生きと働けるように、勤務時間の管理や労働環境の調整を図っています。

★2019年4月から「働き方改革関連法」が施行されました。看護職員のワークライフバランスにも配慮し、働きやすい職場環境の改善に努めています。

★1月25日にカムバック研修を行いました。結婚・出産・育児などの様々な理由で一旦、医療現場から離れられた看護職の方が職場復帰できるためのサポートです。今回は6名の方が参加してくださいました。今後も潜在看護師の方が安心して職場復帰できるように支援していきます。

看護支援部

看護職員の資質の向上を図るために教育全般に対応しています。看護学生の実習指導環境の整備も行っています。

★看護師一人一人の臨床実践能力を高めるための開発ツールとしてキャリアラダーを取り入れ、ラダー教育計画を立案しています。研修に参加して「何か面白かった」、「学ぶことって楽しい」と思えるような研修企画を常に考えています。

★急性期看護に必要な臨床判断・臨床推論に関する研修会を、院外講師を迎えて開催しました。

★新人看護師の成長を皆で支援するための教育に力を入れています。支援する側も共に成長できることを目指しています。

★4校の看護大学や看護専門学校から実習生を受け入れています。学生に受け持つてもらってよかったと患者さんに言って頂けるように、学生指導に力を注いでいます。

★中学生・高校生の看護活動体験を受け入れています。一人でも多くの学生さんが看護職に興味を持っていただけたら、嬉しいです。

臨床看護部

病棟や外来の看護職員が、患者サービスの質の向上を図るように、物的環境・システム環境の整備・調整を行っています。



看護管理室の職員が直接患者さんのケアをさせていただくことはありませんが、看護職員を通して、患者さんとつながってみたいと思っています。

救急看護について

救急看護認定看護師 池野歓樹



当院の救急外来の様子

●○●救急診療センターについて●○●

当院は 2015 年 5 月の開院以来、知多半島北西部の基幹病院として急性期医療・救急医療を担っています。

救急診療センターに搬送される救急車や受診される患者さんは年々増加し、平成 30 年度の救急搬送件数は 5,117 件、受診患者数は 23,777 人となっています。救急には、突然の病気の発症や外傷、病状の悪化など年齢や性別を問わず、様々な患者さんが来院され、家族の方も同時に不安や精神的ストレスを抱えてしまうことがあります。

来院された患者さんや家族の方々に対し、的確な判断に基づいた看護の提供や心のケアができるよう、日々勉強会を行っています。

●○●救急看護認定看護師として●○●

救急診療センターでは、看護師によるトリアージを行い緊急度・重症度を判断し、治療やケアの優先順位を決定しています。そのためトリアージ検討会を行うことや、看護ケアについてもシミュレーション教育を実施し、一人一人のレベルの向上や維持に繋げています。

また、院内の看護師を対象とした救急看護やフィジカルアセスメントについての勉強会を開催し、病院全体に向けた活動も行っています。

ロコモクティブシンドrome ~健康寿命を延ばしたい~

作業療法士 竹内裕雅

ロコモクティブシンドrome(ロコモ)：運動器症候群

定義：運動器の障害により、移動機能の低下を来たした状態

わかりやすく言うと・・・

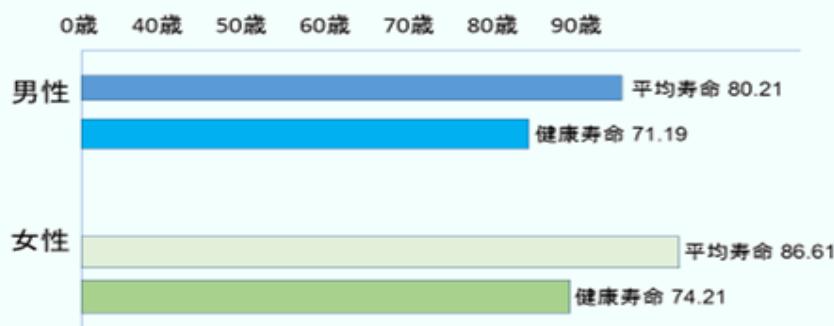
足腰が弱って歩行、立ち座りなどに支障が出始めた状態です。そう遠くない将来に歩けなくなったり、介護や介助が必要または、となる危険性が高い状態。「病名」ではありません。

“ロコモ”を放置して運動機能がさらに低下すると・・・

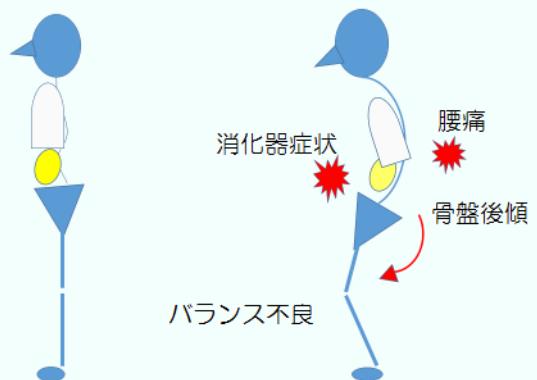
要介護状態になる危険性が高まり、家に閉じこもりがちになります。また、認知症の発症リスクも高くなります。

健康な状態で暮らせる「健康寿命」と平均寿命には差が存在し、『自分で歩けること』は生活の質のためにとても重要なことです。

平均寿命と健康寿命の差のグラフ



バランスの低下

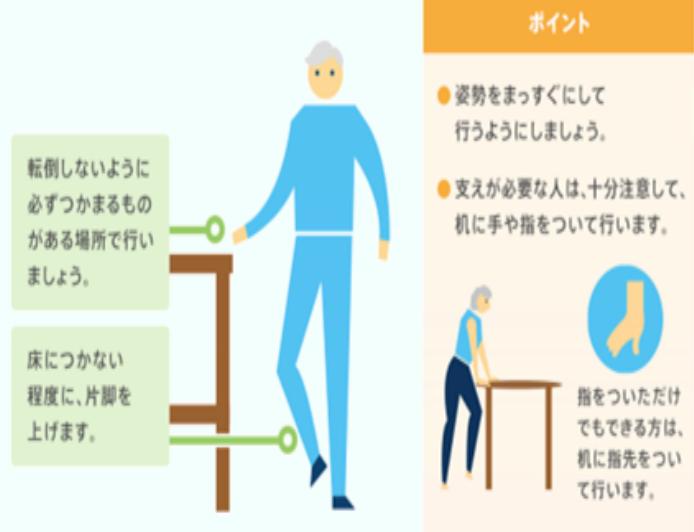


ロコモの主なるつの要因と症状

主な要因	症状の例
バランスの低下	歩行が遅くなる、階段で手すりが必要 転びやすくなる
筋力の低下 (サルコペニア)	重いものが持てなくなる 生活の中の動作がしにくくなる 立ち座りや階段がつらくなる
変形性膝関節症	曲げ伸ばしがしにくくなる 膝が腫れる・水がたまる 立ったり座ったりで膝が痛む
腰部脊柱管狭窄症	腰が痛む・脚が痺れる・痛む 続けて歩くと脚が痛くなつて歩けなくなる
骨粗鬆症	背中が丸くなる・腰が曲がる(椎体骨折) 骨折しやすくなる

バランス能力をつけるロコトレ「片脚立ち」

左右1分間ずつ、1日3回行いましょう。



引用資料「NPO 法人 ストップ・ザ・ロコモ協議会ホームページ」より



お知らせコーナー



2月27日に、愛知県立東海南高等学校の邦楽部のみなさんによる、箏（こと）の演奏会が開催されました。東海南高等学校の邦楽部は、全国高校総合文化祭で最優秀賞を受賞されるなど、輝かしい成績をお持ちです。観客の方々も、美しい音色に聞き入っていました。

がんサロン「さくらサロン」開催のご案内

さくらサロンとは、がん患者さんやご家族ががんについて悩みやがん体験を気軽に語り合う交流の場です。

同じような立場の方とお互いにがんについての思いを語り合うことでがんに対する不安な気持ちが軽くなったり気持ちを整理出来たりする場になればと思います。

申し込みはについては患者サロンルームの受付へお声かけいただくな、電話 0562-33-5500(代)にお電話ください。事前申込みをお願いしておりますが、当日参加も可能ですのでお気軽におこしください。

※中止の際には、ホームページ、院内掲示にてお知らせいたします。

開催日	テーマ
5/8	がんとりハビリテーション
6/12	飲み込み体操
7/10	口腔ケア
9/11	がんを知る～がんとのつきあい方～
10/9	がんの痛みは怖くない
11/13	抗がん剤は怖くない
12/11	がん治療と栄養
1/8	気持ちが辛くなったとき
2/12	ぼうしの作り方講座
3/12	家族ががんになったとき

2020年度 糖尿病教室のご案内



中止になった際には、ホームページ、院内掲示にてお知らせいたします。

回数	開催日	内容		今月の運動	今月のレシピ
第52回	5月12日(火)	糖尿病とは?	糖尿病の食事・基本編	肩の運動	サラダ
第53回	6月2日(火)	初めての糖尿病 ～糖尿病と診断するための検査～	糖尿病の食事・応用編	膝の運動	卵料理
第54回	7月7日(火)	暑い季節にご用心 ～夏の療養注意ポイント～			野菜料理
第55回	8月4日(火)	体験談① ～患者さんから学ぼう～	糖尿病と医療費	応用歩行①	麺料理
第56回	9月1日(火)	糖尿病で注意したい病気 ～糖尿病性腎臓病・腎症の食事療法～		お腹の運動	ご飯物
第57回	10月6日(火)	スポーツの秋!あなたの体力は?			デザート
第6回 糖尿病市民公開講座 11月14日(土) 公立西知多総合病院 講堂					
第58回	12月1日(火)	年末年始は危険がいっぱい ～冬の療養注意ポイント～			肉料理
第59回	1月5日(火)	グループセッション ～糖尿病について語ろう～			魚料理
第60回	2月2日(火)	体験談② ～患者さんから学ぼう～	血糖自己測定 ～偽高値を体験してみよう～	足首の運動	豆腐料理
第61回	3月2日(火)	フトケアってなあに	歯周病にご用心	応用歩行②	サラダ

《診療等のご案内》

外来受付	面会時間	休診日
8:30~11:00 (再診受付機は8:00~)	平日 14:00~20:00 土日祝・年末年始 10:00~20:00	土曜日、日曜日、祝日
		年末年始 (12/29~1/3)

～ 基本理念 ～

私たちは、知多半島医療圏の北西部地域における中核病院としての使命を果たすため、次のとおり基本理念を定めます。

- 1 地域の皆さんとともに育む、心のこもったあたたかい病院を目指します。
- 2 質の高い医療を提供する、信頼される病院を目指します。
- 3 地域医療の担い手として、安心して暮らせるまちづくりに貢献します

～ 基本方針 ～

- 1 患者さんの生命と人権を尊重し、安心安全な医療を提供します。
- 2 地域の基幹病院として、救急医療と急性期医療の充実に努めます。
- 3 地域の医療機関や保健・福祉機関と連携し、地域住民の健康増進を図ります。
- 4 教育と研修により、医療技術の向上と人間性豊かな医療人の育成に努めます。
- 5 職員がやりがいを持ち、安心して働くことができる環境を整えます。
- 6 健全な病院経営に努めます。



公立西知多総合病院だより 第19号

2020年4月発行 編集：広報図書委員会 発行：公立西知多総合病院